

経 営 状 況 説 明 書

第 9 期 決 算

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

第 10 期 計 画

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 3 1 日

みやきまち株式会社

【第1号議案：決算報告書の承認に関する件】

・第9期事業報告（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

当社においては、「三根保健センター管理業務の受託」「学校用務員業務の受託」を展開してまいりました。

以上の結果、令和7年度の事業実績は以下のとおりとなりました。

売上高は12,118千円となり、前期の売上高79,544千円から67,426千円の減、営業損益は営業損失が9,172千円となり、前期の営業損失3,371千円から5,801千円の増となっています。経常損失は9,719千円、当期純損失は9,565千円で決算を行っております。

第9期の主な事業

4月	みやき町と「包括業務委託契約」締結
6月	書面議決による定時株主総会

決算報告書

第 9 期

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

みやきまち株式会社

佐賀県三養基郡みやき町大字市武 1 3 8 1

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 5,829,650】	【流 動 負 債】	【 1,197,050】
現 金 ・ 預 金	3,317,289	未 払 金	1,126,050
売 掛 金	1,153,051	未 払 法 人 税 等	71,000
立 替 金	29,988		
未 収 入 金	4,522	負 債 合 計	1,197,050
未 収 消 費 税 等	1,324,800	純 資 産 の 部	
【固 定 資 産】	【 84,620】	【株 主 資 本】	【 4,717,220】
[有 形 固 定 資 産]	[79,240]	[資 本 金]	[1,000,000]
車 両 運 搬 具	1	[利 益 剰 余 金]	[3,717,220]
工 具 器 具 備 品	79,239	(その他利益剰余金)	(3,717,220)
[投資その他の資産]	[5,380]	繰 越 利 益 剰 余 金	3,717,220
預 託 金	5,380	純 資 産 合 計	4,717,220
資 産 合 計	5,914,270	負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,914,270

損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【純 売 上 高】		
売 上 高	12,118,445	12,118,445
売 上 総 利 益		12,118,445
【販売費及び一般管理費】		21,290,547
営 業 損 失		9,172,102
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	19,272	
雑 収 入	28,671	47,943
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	595,222	595,222
経 常 損 失		9,719,381
【特 別 利 益】		
前 期 損 益 修 正 益	224,734	224,734
税 引 前 当 期 純 損 失		9,494,647
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		71,000
当 期 純 損 失		9,565,647

販売費及び一般管理費

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【人 件 費】		
役 員 報 酬	30,000	
給 料 手 当	16,424,335	
法 定 福 利 費	2,014,840	
福 利 厚 生 費	47,000	18,516,175
【経 費】		
旅 費 交 通 費	388,798	
車 両 費	154,604	
通 信 費	81,970	
租 税 公 課	54,935	
消 耗 品 費	68,853	
賃 借 料	42,455	
リ ー ス 料	776,040	
修 繕 費	86,596	
保 険 料	420,684	
支 払 手 数 料	551,700	
諸 会 費	20,000	
減 価 償 却 費	39,737	
雑 費	88,000	2,774,372
合 計		21,290,547

株主資本等変動計算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

(単位:円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計			
						その他利益剰余金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,000,000							13,282,867		14,282,867	
当期変動額											
当期純損失								9,565,647		9,565,647	9,565,647
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-	△9,565,647	-	△9,565,647	△9,565,647
当期末残高	1,000,000							3,717,220		4,717,220	4,717,220

令和 8 年 6 月 11 日

監 査 報 告 書

みやきまち株式会社 代表取締役 岡 毅 様

みやきまち株式会社 監査役

馬場 俊亮



私は、令和 8 年 6 月 11 日に第 9 期事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、付属明細書）について監査いたしました。
監査の結果については、下記のとおりです。

記

1. 監査の概要

会計監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討し必要な実査、照合及び聴取その他の方法を用いて監査いたしました。

2. 監査結果

計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、付属明細書）は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認めます。

【第2号議案：事業計画の承認に関する件】

令和8年度 みやきまち株式会社 事業計画

1. 基本方針

当社においては、町からの委託事業が終了したものの、前年度に係る職員給与の支払い等の業務が残っているため、本年度はこれらの整理業務を中心に必要最小限の事業運営を継続する。

また、次年度以降については、法人税等の負担軽減の観点から、休眠状態への移行を見据えた準備を進めるものとする。

2. 事業計画（具体的内容）

当期においては、以下の事項を中心に対応する。

（1）既存事業の整理

- ・委託事業終了に伴う業務の整理

（2）会社維持業務

- ・法人として必要な法定手続き（税務申告等）の実施
- ・最低限の経費管理および財務管理

（3）休眠に向けた準備

- ・次年度以降の事業停止に向けた税務上の休眠扱いとするための準備

3. 収支計画

当期は事業収益の発生を見込まず、必要最小限の支出により運営を行う。

4. その他

次年度以降については、実質的な事業活動を行わず、休眠会社としての適切な管理に移行する予定とする。ただし、新たな事業機会が生じた場合は、必要に応じて再開の可否を検討する。

【第3号議案：予算の承認に関する件】

第10期 収支予算（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

（税別）

科 目		当 期	備 考
【売上高】		0	
行政事務効率化受託業務	公共施設管理運営等受託	0	
	売上総利益金額	0	
【販売費及び一般管理費】		567,000	
	営業利益金額	-567,000	
【営業外収益】		0	
受取利息		0	
雑 入		0	
	経常利益金額	-567,000	
	税引前当期純利益	-567,000	
	法人税、住民税及び事業費	71,000	
	当期純利益金額	-638,000	

販売管理費及び一般管理費

科 目	当 期	備 考
役員報酬	30,000	
給与手当	0	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信費	0	
減価償却費	39,000	ハンマーナイフ
賃借料	0	
リース料	192,000	電話機、机椅子
保険料	0	
修繕費	0	
水道光熱費	0	
燃料費	0	
消耗品費	0	
租税公課	6,000	軽トラ
広告宣伝費	0	
支払手数料	300,000	税理士報酬
諸会費	0	
業務委託	0	
雑 費	0	
合 計	567,000	